

# 2021(令和3)年度 部局マニフェスト

## ～私たちの組織使命と目標～

部局名	上下水道部
役職	部長
氏名	高木 忠幸
2021(令和3)年度の抱負	安全でおいしい飲み水と、美しい水環境を守る



業績目標の達成状況
5. 先進的な取り組みを行い、成果があった
4. 達成水準を上回る成果があった
3. 業績目標を達成した
2. 取り組んだが、業績目標を達成しなかった
1. 業績目標に取り組まなかった

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段
◎部局目標1	伊賀市水道事業ビジョンの計画的推進「安心・安全」と「信頼」を未来につなげる伊賀の水道 水道施設の統廃合及び耐震化実施	<p>〈現在の状態〉 上野北部配水池が経年劣化により老朽化している。 ↓ 〈達成目標〉 上野南部配水池系統への統合、または建替について比較検討の結果、方針を決定する。</p> <p>※目標が達成した状態 比較検討結果に基づき、上野北部配水池系統の安定給水が図れる。</p>	<p>上野地区配水区域統合計画策定業務を行い、統廃合の懸案事項を比較検討し基本計画を策定する。</p>
◎部局目標2		<p>〈現在の状態〉 水道管路総延長1372kmの内、耐震管の延長が122.16kmである。 ↓ 〈達成目標〉 老朽化した水道管等の布設替工事により3.5km以上の延伸を図る。</p> <p>※目標が達成した状態 地震に強い水道管が増えることにより、災害発生時における安心・安定した水道水の供給が行える。</p>	<p>耐震性能を有する経済的な管種を採用し事業費用の低減に繋げ、管路の延伸に努める。</p>

達成状況(自己評価)	理由
3	上野北部配水系統を南部配水系統へ統合する基本案を作成し、次年度詳細な検討を進める。
4	経済的な耐震管を選定したことから事業費用の低減に繋がり業績目標値を上回る4.5kmの管路耐震化を達成した。

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標3					
伊賀市水道事業経営戦略2017の計画的推進 「経営基盤の強化と財政マネジメントの向上」 伊賀市下水道事業経営戦略2019の計画的推進 「経営基盤の強化と財政マネジメントの向上」	上水道事業・下水道事業の経営の効率化及び健全化	<p>〈現在の状態〉 水道と下水道に係る料金システムが連携していないため、業務の効率化が進まない。 ↓ 〈達成目標〉 上下水道料金システムの構築によりシステムの統一を図る。</p> <p>※目標が達成した状態 水道料金と下水道使用料に関する手続き、請求、徴収事務の効率化を図ることができる。</p>	<p>民間の高度な専門知識・技術やノウハウなどを活用した事業実施の提案を受けるため、公募型プロポーザルを実施する。</p>	▶ 2	公募型プロポーザル方式によりシステム構築業務委託先を決定し、構築を進めたが、下水道使用料改定に不測の日数を要したため、構築業務の完成予定が令和4年度に延期となった。
◎部局目標4					
持続可能な下水道運営・下水道普及率の向上「下水道施設の改築更新及び統廃合・合併処理浄化槽の推進」	下水道施設の改築更新及び統廃合	<p>〈現在の状態〉 現在31処理場があり、非効率な運転となっていることから、統廃合を行い効率的な運転を行う必要がある。 ↓ 〈達成目標〉 31処理場を14処理場に統廃合する計画を盛り込んだ生活排水処理施設整備計画を作成する。</p> <p>※目標が達成した状態 生活排水処理施設整備計画に基づき、統廃合を行いながら、効率的な事業運営を図れる。</p>	<p>・パブリックコメントの実施 ・広報及びホームページ掲載準備と公表</p>	▶ 3	整備手法の見直しに併せ下水道施設統廃合計画、排水区域変更を反映した生活排水処理施設整備計画を策定した。
◎部局目標5					
持続可能な下水道運営・下水道普及率の向上「下水道施設の改築更新及び統廃合・合併処理浄化槽の推進」	合併処理浄化槽の推進	<p>〈現在の状態〉 令和元年度末現在の伊賀市汚水処理人口普及率は80.3%であり、三重県平均86.0%より、5.7%低い状態である。 ↓ 〈達成目標〉 単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進に関する補助金制度を新設する。</p> <p>※目標が達成した状態 補助金交付により早期に単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換を図り汚水処理人口普及率の向上が図れる。</p>	<p>・広報及びホームページ掲載準備と公表</p>	▶ 4	補助金交付要綱改正に併せて、啓発チラシにより市民への啓発と、事務処理マニュアル等を作成した。